

2023年7月吉日

3Dプリンタを自ら操作して、福祉用具を作製してみませんか
「3Dプリンタを活用した福祉用具作製および意見交換会」のへの参加募集について

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、中部学院大学・中部学院大学短期大学部では、2016年度より、「3Dプリンタを活用した福祉用具作製のための教育プログラム構築」の研究活動をおこなっております。3Dプリンタを活用して介護支援機器を作製することは、要介護者の自立支援やQOL向上、また介護者の職場環境改善につながる可能性があると考えております。

この研究活動の一環として、これまで介護現場職員の皆様に3Dプリンタを実際に活用して福祉用具等を作製いただき、その課題やニーズをお伺いしてきました。今回は、これまでの内容を踏まえて、以下の協働参加型プログラムで計画させて頂きました。

本旨をご理解のうえ、研究活動にご協力いただける皆様のご参加をお待ちしております。なお、開催プログラムの詳細と申込方法につきましては、同封の別紙をご参照ください。

記

【開催プログラムの概要】

①3Dプリンタ基本操作の説明：8月22日(火)10:00～16:30

②福祉用具の自由制作：以下の4日間で都合の良い日にご参加ください(13:30～16:30)。
9月15日(金)、9月25日(月)、10月9日(月)、10月23日(月)

【開催場所】 中部学院大学 関キャンパス 本館4階 1401教室

【対象】 介護福祉現場に勤務している現場職員(職種は問いません)

【参加定員】 10人程度(希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます)

【申込締切】 8月15日(火)

【参加費】 無料

*本研究はJSPS科研費JP19K02208の助成を受けた活動です。

連絡先

中部学院大学・中部学院大学短期大学部

〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地

TEL 0575-24-2211(代表)FAX 0575-24-0077

中部学院大学短期大学部社会福祉学科 高野晃伸

中部学院大学短期大学部社会福祉学科 吉川杉生

中部学院大学スポーツ健康科学部 中川雅人

「3D プリンタを活用した福祉用具作製プログラムおよび意見交換会」に

参加しませんか

- 【開催日程】 ① 3Dプリンタの基本操作説明：8/22（火）10:00～16:30
 ②福祉用具の自由制作：以下の4日間で都合の良い日にご参加ください（13:30～16:30）
 9/15（金）、9/25（月）、10/9（月）、10/23（月）

【開催場所】 中部学院大学・同短期大学部 関キャンパス 1401教室（本館4階）

【対象】 介護福祉現場に勤務している現場職員（職種は問いません）

【参加定員】 10人程度（希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます）

【申込方法】 以下のメールアドレス宛にお申込みください。

（参加される方の ①氏名 ②所属 ③職種 ④連絡先 を送信してください。）

担当者：中部学院大学短期大学部社会福祉学科 高野晃伸

連絡先：電話 0575-24-2211（代） E-mail takano@chubu-gu.ac.jp



【申込締切】 8月15日（火）

【参加費】 無料

【開催プログラムと内容】

回	月日	時間	内容	
1回目	8/22（火）	10:00～ 16:30	①研修のねらい ②3Dプリンタの特性と基本的操作 ③物品づくりに向けた基礎知識 ④福祉器具を用いたアセスメント ⑤3D CADを使った設計・製作 ⑥3Dプリンタの活用 ⑦意見交換、アンケート	参加必須 ①～④ 3Dプリンタの基礎知識や基本操作を体験し、学びます。 ④～⑥ 教員のサポートのもと、各自で3Dプリンタを操作して頂きます。
2～5回目	9/15（金） 9/25（月） 10/9（月） 10/23（月）	13:30～ 16:30	①3D CADを使った設計・製作 ②3Dプリンタの活用 ③意見交換、アンケート	参加自由 ①～② 各自で介護支援機器の作製 ③ 参加者との意見交換、アンケートを記入頂きます。

*会場には必ず本学教員が待機し、3Dプリンタに関するアドバイスをを行います。

（本研究はJSPS科研費JP19K02208の助成を受けた活動です）